

練馬区独立 70 周年 記念事業特集



10月15日に開催された「練馬区独立70周年記念パレード」(写真は練馬駅前の千川通り)

第30回 照姫まつり

(4月23日開催／都立石神井公園周辺)

石神井に伝わる照姫伝説にちなんだまつりで、華やかな時代衣装を身にまとった照姫を中心に、勇ましい鎧姿の武者などで構成された約100人が照姫行列を行った。

今回は練馬区独立70周年記念イベントとして、幕末の砲術家高島秋帆ゆかりの鉄砲隊による演武や、練馬地域が徳川将軍の鷹場だったことにちなんだ鷹狩、区民参加型イベントとしてチャンバラ合戦などが行われた。



← 鉄砲隊による演武の様子

第35回 練馬こどもまつり

(5月14日開催／都立光が丘公園、都立石神井公園)

スポーツ体験や工作教室など、両会場合わせて40以上のアトラクションのほか、ステージでは子どもたちが歌やダンスを披露した。

練馬区独立70周年を記念した特別企画のスタンプラリーを実施し、5つのアトラクションを体験した参加者に限定缶バッジが贈られた。

↓ ステージでパフォーマンスを披露する子どもたち



アニメプロジェクト in 大泉 2017

(5月21日開催／大泉学園駅北口周辺)

4会場で開催され、東映アニメーション制作のアニメ映画の上映や、東映アニメーションの歴史を語るトークショーが行われた。また、東映アニメーション制作のキャラクターショーのほか、アニソンライブやアニメ制作体験教室など、会場ごとにさまざまな催しが行われた。



↑ 「アニメプロジェクト in 大泉 2017」の様子

ねりま文化ウィーク

(7月22日～8月5日開催)

練馬文化センター・石神井公園ふるさと文化館および分室・美術館を巡り、さまざまな文化芸術を楽しむことができる期間として、文化イベントを集中的に開催した。オープニングイベントの「八代亜紀プレミアム・コンサート」を皮切りに、各施設で公演や展覧会、ワークショップなどが行われ、最終日の「真夏の第九」で幕を閉じた。

初日に開催された
「森と劇場のサーカス・フェスタ」



「ねりま文化ウィーク」
チラシ



子ども科学講演会・宇宙展示会

(7月22～23日開催／区民・産業プラザ)

元 JAXA 有人宇宙技術部長の柳川孝二氏が講師として、主に小・中学生向けに「宇宙のとびらを開いてみよう」をテーマに、人類が宇宙にかける夢をわかりやすく講演した。展示会では、JAXA 所有のロケット・人工衛星の模型、原寸大の宇宙服などを展示し、フライトスーツ着用体験コーナーなどを設けた。



↑ 子ども科学講演会

練馬区独立 70 周年記念式典

(8月1日開催／練馬文化センター)

第一部では、主催者挨拶、来賓祝辞等に続き、名誉区民として、新たに、画家の野見山暁治氏と、漫画家のちばてつや氏を顕彰した。第二部では、公益財団法人練馬区文化振興協会理事長で、ヴァイオリニストの大谷康子氏と、NHK 交響楽団メンバーによる記念コンサートが行われた。

来場者には、練馬区独立 70 周年記念誌「くるりとねりま」、70 周年記念特製エコバッグおよび広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」の特製缶バッジ等が贈られた。



← 挨拶する
前川耀男区長



→ 記念コンサートの
様子

こどもアートアドベンチャー

(8月1日開催／区民・産業プラザ)

子ども向けの参加型アートイベントで、コマ撮りアニメーション体験やガラクタ楽器作りなど 19 種類のアート体験ワークショップや、劇団飛行船によるミニショーなどを行った。また、メインイベントのライブペインティングでは、版画家の蟹江杏氏が生演奏に合わせて、子どもたちと大きなキャンバスに 1 枚の絵を完成させた。

↓ 完成した作品と参加した子どもたち



花火フェスタ

(8月1日開催／練馬総合運動場)

音楽に合わせ、4,500 発の花火を打ち上げる花火フェスタを開催した。また、練馬区商店街連合会による模擬店、ステージでのダンスパフォーマンスのほか、水鉄砲合戦や巨大ピタゴラ装置の作製などのイベントを開催した。



↑ 花火が打ち上がる様子

練馬区独立70周年記念誌「くるりとねりま」

(8月1日発行)

区のこれまでの足取りを確かめ、新しい未来を展望する記念誌を発行した。区の歴史だけでなく、豊かな緑や文化、地域の課題に取り組む人々等、現在の区の魅力を紹介している。

記念誌は、区内および池袋駅付近の書店25か所で販売された。

- ・発行部数 3,000部
- ・規格等 A4版オールカラー、216ページ



表紙のプレゼントの箱の中には、区の魅力がつまっている。

真夏の第九

(8月5日開催/練馬文化センター)

指揮者に曾我大介氏、ソリストに区にゆかりのある4名を迎え、公募区民による約1,100人の記念合唱団が、ベートーヴェンの交響曲第9番第四楽章「歓喜の歌」で70周年を祝福した。他にも、日本大学芸術学部ブラリアンサンプリの演奏や、練馬児童合唱団の歌声が披露された。



オーケストラの演奏と共に合唱団が歌声を披露した。

子どもたちの公園づくりワークショップ

(9月～30年2月 計4回開催)

(仮称)練馬区立上石神井三丁目公園の基本計画を作成するにあたり、近隣小学校(上石神井小・石神井小・下石神井小)の子どもたちによるワークショップが行われた。ワークショップで子どもたちが描いた「理想の公園イメージ」は、基本計画に反映された。



子どもたちが、グループごとに理想の公園イメージを作成した。

ガーデニングコンテスト

(9月25日～10月4日開催)

区民が丹精込めて作った自慢の庭を募集し、区民にお気に入りの庭を投票してもらうコンテストを実施した。また、自宅の庭や花壇を、一般の方に公開する「オープンガーデン」を実施した。



自慢の庭が多く寄せられた。

みどりの風 練馬薪能

(10月14日開催／練馬文化センター)

重要無形文化財総合指定保持者の梅若万三郎氏、梅若紀長氏、人間国宝で名誉区民の野村万作氏、野村萬斎氏が共演し、能「紅葉狩 鬼揃」と狂言「棒縛」が演じられた。

今回は、公演をより楽しめるよう、「能楽体験ワークショップ」「薪能プレセミナー」も開催した。



← 能「紅葉狩 鬼揃」



→ 狂言「棒縛」

第40回 練馬まつり

(10月15日開催／としまえん・練馬駅周辺)

練馬の名産品、飲食店および展示・PRなどの出店やダンス、太鼓などのステージパフォーマンスが行われた。また、信州上田真田陣太鼓、ねり丸グリーティング、ヒーローショー、チャンバラ合戦やスタンプラリーを開催した。さらに、練馬区独立70周年記念イベントとして、「巨大手形アートプロジェクト」を行い、約1,000人の区民が手形で1本の樹を描いた。練馬駅周辺の千川通りから南町小学校までの間で開催された記念パレードでは、太鼓の揃い打ちが披露され、地域のお神輿、区内で活躍している各種ダンスチーム、区のイメージカラー「みどり」を身につけた区民など、約3,000人が行進した。

練馬産業見本市、練馬アニメカーニバル、ねりまエコスタイルフェア、健康フェスティバルも同時開催された。



← 「手形アートプロジェクト」の作品



→ 練馬産業見本市での伝統工芸(東京彫金)体験

練馬を食べよう 農産物スタンプラリー

(11月1～30日開催)

区内で練馬産農産物を取り扱う直売所や飲食店、加工品販売店全93か所を巡る「練馬を食べよう 農産物スタンプラリー」を開催した。



← 「練馬を食べよう 農産物スタンプラリー」ポスター

観光情報誌「ことりっふ 練馬さんぽ」

(11月1日発行)

人気の旅行ガイドブック「ことりっふ」と23区で初めて連携した観光情報誌「ことりっふ 練馬さんぽ」を発行した。「今まで知らなかった新しい練馬」「人に教えたくない意外な場所」「居心地のよい場所」をコンセプトに、練馬の魅力を伝える一冊となっている。



↑ 「ことりっふ 練馬さんぽ」誌面

ねりまユニバーサルフェス

(7月～12月開催)

障害者や高齢者、子ども、外国人など、さまざまな人が共に暮らせる地域社会を実現するために、スポーツや音楽、アートを楽しみながら、お互いの理解を深めることができるイベントを開催した。

・福祉を知る

障害者、高齢者、子ども向けの施設などを巡るスタンプラリー「ねりあるきラリー」を7月から開催した。12月の「障害者フェスティバル」では、障害のある方が歌や踊りを披露したほか、作品展示や自主生産品の販売などを行った。初開催の「みんなのUDパーク」では、全ての人が楽しみながらUD（ユニバーサルデザイン）を知り、体験することができるイベントを行った。

・スポーツを楽しむ

「ユニバーサルスポーツフェスティバル」は2度目の開催で、パラリンピック正式種目のボッチャ等の体験イベントを行った。

・文化に親しむ

最終日に開催された「Nerima ユニバーサルオーケストラコンサート」では、障害の有無や国籍・年齢を超えた約200名がオーケストラ演奏と合唱を披露した。



← ボッチャに挑戦する参加者



↑ UDトーク（※）体験が行われた。

※ UDトーク：

音声を変換したり、多言語を認識、翻訳することができるアプリ。障害の有無や言語にかかわらず、多様な人とコミュニケーションを図ることができる。



↑ Nerima ユニバーサルオーケストラ・合唱団

その他の催し

美術館および石神井公園ふるさと文化館では、練馬区独立70周年記念事業として企画展、特別展を開催した。(詳細は、193ページ「●美術館」、「●石神井公園ふるさと文化館」を参照)

区民協働事業

練馬区独立70周年を、未来に向けて夢のあるまちづくりに取り組む契機とするため、区民が自ら提案し、区民主体で運営する記念事業として実施した。

(1) 練馬をキラッと

練馬の食、産業、芸術、福祉などを一堂に集め、練馬の魅力を体感できるイベントを開催した。

PRポスター



(2) 森のJAZZ祭

区内在住のプロ演奏家による、野外JAZZコンサート開催した。

森のJAZZ祭



(3) こどもたちと夢見る大泉学園2047年

大泉地域の小中学生が、まち歩きやワークショップを通じて学んだ地域の歴史や魅力を「大泉学園かるた」にまとめ、地元商店街の祭でかるた大会を行った。

(4) こどもがそとであそぶまち・練馬

子どもと大人と一緒に、遊びについて考える体験型講座を開催した。過去から現在までの外遊びの変遷や、区内の遊び場を紹介する冊子を発行した。

(5) 山崎直子宇宙飛行士の講演会と松本零士トークショー

第一部では、山崎直子宇宙飛行士が「宇宙・人・夢をつなぐ」をテーマに、自身の経験等を講演した。第二部では、漫画家の松本零士氏も交えてトークショーが行われた。



講演する山崎直子宇宙飛行士

地域おこしプロジェクト

区民の自由な発想で未来の練馬の発展につながる事業を公募し、区との協働により実施した。

(1) 都市農業の魅力創造～味（ビ）ストロ練馬～

練馬の都市農業＝“カッコイイ”を広めるため、オリジナルレシピの開発や、音楽・アート等多業種とコラボした区内初の食のイベントを開催した。練馬産野菜が持つ魅力や可能性を、得意の料理を切り口に伝えた。



味（ビ）ストロ練馬の会場

(2) 地域共生社会の高齢者支援におけるコンビニエンスストアとの協働モデルの構築

地域ぐるみで高齢者を見守る拠点として、区内に230店以上あるコンビニに着目し、コンビニ店員が認知症の理解を深めるため、カードゲーム形式の新たな研修プログラム「N-impro（ニンプロ）」を開発した。



「N-impro（ニンプロ）」を体験する様子

(3) ダイバーシティ発信基地 I（アイ）LDK

特別支援学校卒業後の知的障害者に、自立した大人として生きるために必要な学びの機会を提供し、居場所となる拠点の開設と運営に取り組む事業である。障害の有無にかかわらず一緒に参加できるワークショップを開催した。



ワークショップの参加者